

湖畔で花壇整備 全道からボランティア250人参加

「MOVE洞爺湖2014」（洞爺湖温泉観光協会など主催）が、4月26日、洞爺湖温泉で開かれ、住民や全道各地から約250人が参加して、湖畔の彫刻清掃や花壇整備に汗を流しました。

2000年有珠山噴火後の洞爺湖清掃作業がきっかけとして、北海道のラジオ局AIR-Gとの連携で始まったボランティア活動です。

当日は、湖畔にある花壇にパンジー7,000株、ビオラ3,000株合わせて10,000株を植栽しました。

午後からは、旭川出身の児玉梨奈さんのライブやビンゴゲームで楽しみました。



湖畔にある花壇で花を植える参加者たち

毎年洞爺湖町建設協会が行っている西山火口散策路の整備活動が、



散策路の枕木を交換する建設協会の会員の皆さん

今年も5月1日、同協会会員、有珠山ガイドの会、町職員など約25人が参加して行われました。

観光シーズンを迎えて、行楽客らに気持ち良く過ごしてもらおうとボランティア活動を実施しています。

当日は、西山散策路の北口と南口に分かれて作業を開始。散策路の古くなった枕木13本と焼き丸太杭138本の交換に、ロープ張り直しなども行われました。

参加者らは「少しでも気持ち良く歩けるように」と作業に汗を流しました。

建設協会環境整備に汗流す 西山散策路で枕木交換

とうやこ幼稚園と本町保育所の園児らが、「ふる里の丘総合福祉館」を訪れ、利用者の皆さんといっしょに芋植えを楽しみました。



芋植えを楽しむとうやこ幼稚園児たち

利用者の皆さんといっしょに芋植えを楽しみました。利用者のお年寄りとの交流を目的に始められたもので、今年、とうやこ幼稚園が5月7日、本町保育所が14日にそれぞれ同館を訪問。館内にある約50平方メートルの「しらかば畑」で、養護老人ホーム幸生園とケアハウスの利用者と作業を行いました。

植えたのは、「とうや」「ノーザンルビー」「男爵」など5品種の種芋。園児らは、畝に沿って一列に並び、「お芋大きくなーれ」と声をかけながら、種芋を置いていき、利用者がそれに土をかけていきました。

「お芋大きくなーれ」 園児ら老人施設で種芋植え

野草や野鳥を観察 洞爺湖の春を満喫

多彩な植物や野鳥が観察できる月浦森林公園の魅力を知る「春の自然観察会」（いきいき教室・NPO法人森・水・人ネットワーク主催）が、5月9日同公園で、約50人の町民らが参加して開かれました。参加者は、芽吹き始めた野花や鳥のさえずりなど春の訪れを感じていました。

当日は、NPO法人代表の木村益巳さんが案内し、珍しい白色のエゾエンゴサクの群生や紫が映えるミヤマスミレ、黄色い花をつけたエゾノリュウキンカなどの咲き始めた野草を観察。ヤマゲラ、アオサギ、ホオジロなど約20種類の野鳥も確認し、洞爺湖の春を満喫しました。



春を探しながら歩く参加者たち

まちのわだい

